

書評会

「中塚武

『気候適応の日本史』

を読む」

中塚武

気候適応の
日本史
人新世を
のりこえる視点

龍作伝播、遷都、武士の台頭、江戸幕府の終焉
気候変動の
インパクトを考える

炭素同位体比
年輪年代法
先史・古代の暦年と天候を編む
中塚武

出土材等の年輪を分析し、暦年代の
明や過去の気候変動の復元に大き
成果をあげている炭素同位体比年
輪年代法。その基礎と応用事例をわ
やすく解説する。
同成社

【日時】

6月13日(月)

16時30分～18時

(ウェビナー開催)

【プログラム】

16時30分～35分

諫早庸一 (北海道大学)

「趣旨説明：歴史学と古気候学をつなぐ」

16時35分～45分

中塚武 (名古屋大学)

「なぜ気候適応の「通史」をめざすのか？」

16時45分～17時

佐藤雄基 (立教大学)

「「中周期」の気候変動と中世日本：記憶と統治」

17時～17時15分

西村陽子 (東洋大学)

「気候変動と中国史の展開」

17時20分～18時

総合討論

中塚武 (名古屋大学大学院環境学研究科教授)

近著として他にも『炭素同位体比年輪年代法』(同成社、2021年)、
『気候変動から読みなおす日本史』(監修、全6巻：臨川書店、2020-21年)。



参加方法 (参加無料)

以下の URL またはバーコードから参加登録をお願いします。
登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/
WN_Zfv5QBDGTcyDzclD9ivBCw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Zfv5QBDGTcyDzclD9ivBCw)

※オンライン会議ですので、インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があれば
ご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。通信費用は参加者負担となります。



参加登録 URL

主催：科学研究費基盤研究B「「14世紀の危機」についての文理協働研究」
(諫早庸一：21H00555)

共催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
「領域を超えた地域研究振興のための拠点形成」関連プロジェクト
「国際的な生存戦略研究プラットフォームの構築」

お問合せ：Yoichi ISAHAYA (yoichi.isahaya@slav.hokudai.ac.jp)

科研費
KAKENHI

SRC